

NSK

2021年3月期 第2四半期 決算説明会



2020年11月6日
日本精工株式会社

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

目次

1. 2021年3月期前半（4～9月）実績
2. 2021年3月期通期業績予想
3. 事業セグメント別の課題取り組み状況
(補足資料)

1. 2021年3月期前半（4～9月）実績

前半 決算 概要

✓ 2021年3月期前半（4～9月期）

	実績	対前年同期
・売上高	3,159億円	-1,189億円 / -27.4%
・営業利益 (営業利益率)	-106億円 (-3.4%)	-264億円 / -
・当期利益 <small>〔親会社所有者帰属〕</small>	-123億円	-241億円 / -

ハイライト

- ✓ コロナ影響により経済活動が停滞 Q1が底 Q2徐々に回復
(売上高 対前年同期 Q1 -42% → Q2 -12%)
- ✓ 固定費抑制を継続 利益減の最小化に注力
- ✓ 営業利益 一過性要因もありQ2黒字 Q1-129億円→Q2+23億円
- ✓ 中間配当金 10円/株

2021年3月期前半（4～9月）業績

(億円)	20/3期			21/3期		
	前半 <実績>	Q1 <実績>	Q2 <実績>	前半 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	4,348	1,289	1,870	3,159	-1,189	-27.4%
営業利益	158	-129	23	-106	-264	—
<営業利益率>	<3.6%>	<-10.0%>	<1.2%>	<-3.4%>		
税引前利益	156	-125	19	-107	-262	—
当期利益 (親会社所有者帰属)	118	-97	-26	-123	-241	—
換算レート1USD	108.63	107.62	106.22	106.92	-1.71	-1.6%
" 1EUR	121.41	118.47	124.11	121.29	-0.12	-0.1%
" 1CNY	15.68	15.17	15.35	15.26	-0.42	-2.7%

ご参考： セグメント利益： 営業利益に その他の営業損益（為替差損益ほか）を戻したものの

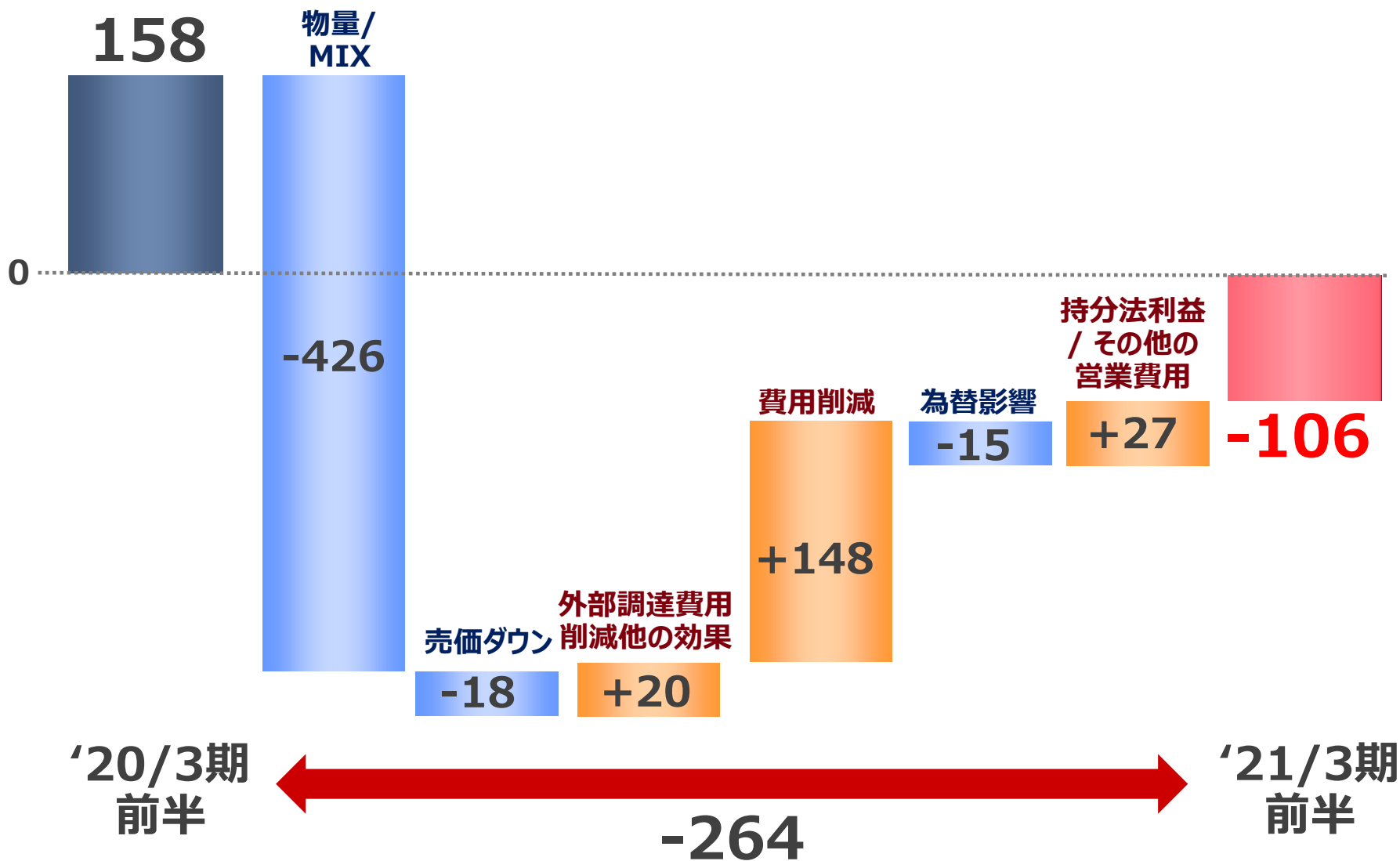
セグメント利益	167	-125	-4	-130	-297	—
<対売上高 率>	<3.8%>	<-9.7%>	<-0.2%>	<-4.1%>		

【主要指標】

ROE	4.5%	—
ネットD/Eレシオ	0.28倍	0.31倍
棚卸資産回転数	5.5回転	4.2回転

営業利益 増減内訳 (20/3期前半 ⇒ 21/3期前半)

(億円)

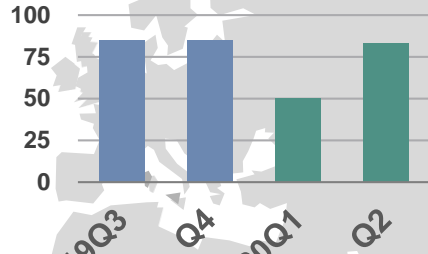


前半 地域別 需要動向

- ✓ 地域別：中国 Q2で前年レベル 他地域も順調に回復
- ✓ 産業機械事業：需要はQ1 -17% → Q2 -8%へ
- ✓ 自動車事業：グローバル生産台数 Q1 -43% → Q2 -5%

前年同期を100とした場合の指数推移

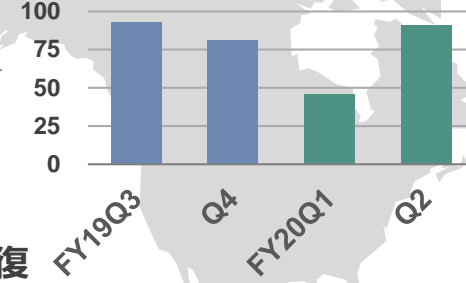
欧州 5月以降 回復



中国 順調に推移



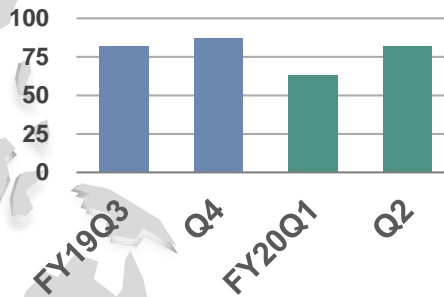
米州 5月以降 回復



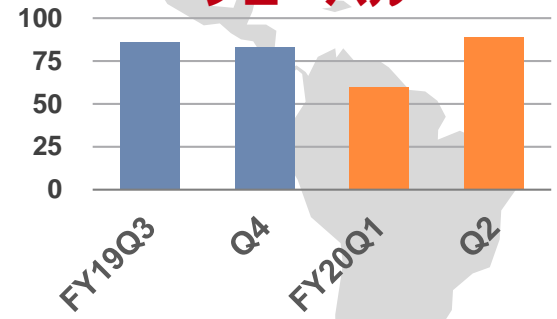
その他アジア



日本 Q2で8割まで回復



グローバル

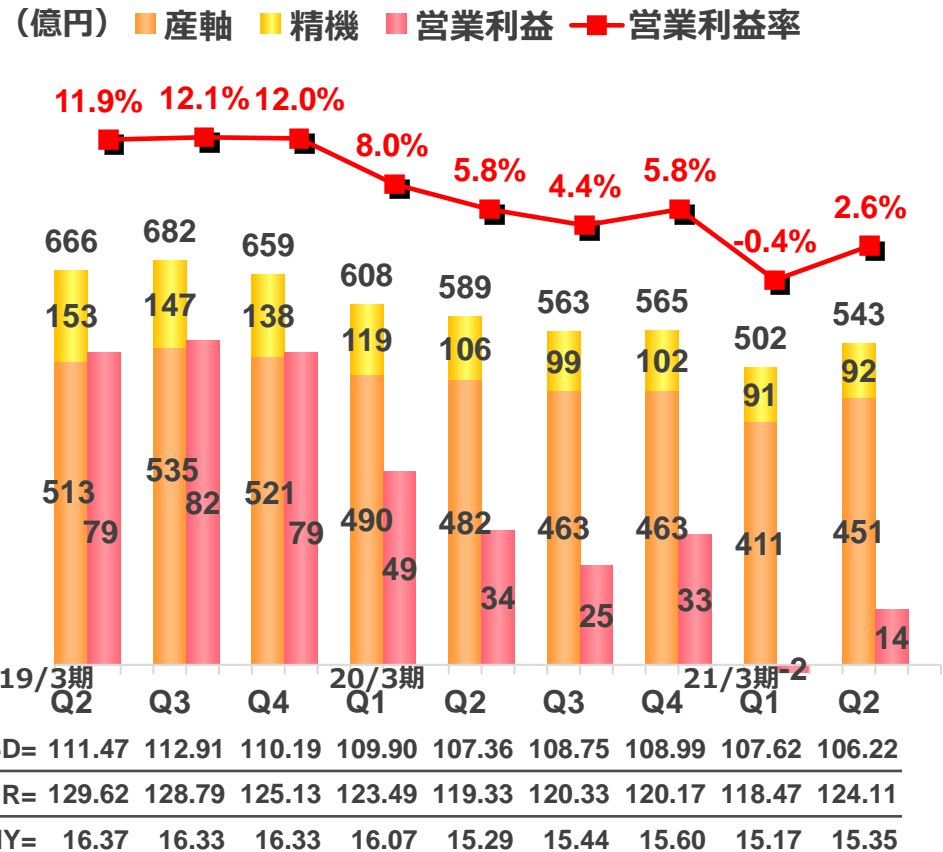


- アセアン：6月以降 回復
- インド：Q2で通常稼働
- 韓国：緩やかに回復

- ・前年レベルに向けて順調に回復傾向
- ・コロナ安全対策を徹底し、NSKのグローバル・オペレーションを継続

売上高・営業利益 [産業機械事業]

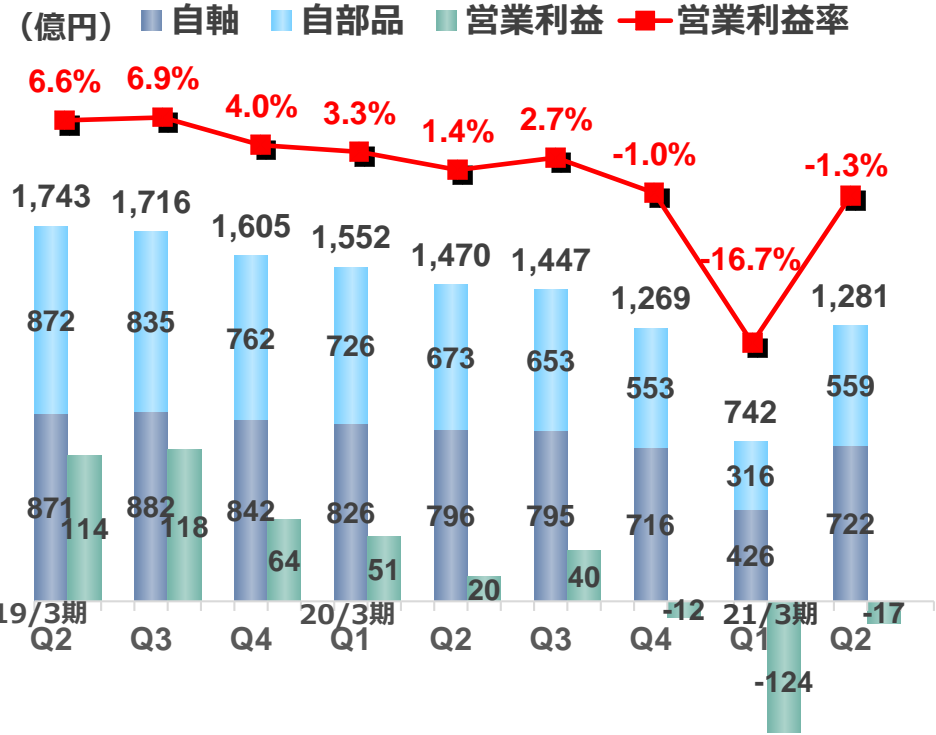
(億円)	20/3期 前半 <実績>	21/3期 前半 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率
売上高	1,197	1,045	-151	-12.6%
産業機械軸受	972	862	-109	-11.3%
精機製品	225	183	-42	-18.7%
営業利益 <利益率>	83 <6.9%>	12 <1.2%>	-71	-85.3%
換算レート1USD=	108.63	106.92	-1.71	-1.6%
" 1EUR=	121.41	121.29	-0.12	-0.1%
" 1CNY=	15.68	15.26	-0.42	-2.7%



- ✓ 売上高 1H YoY 1,045億円 -13% (Q1 -17% Q2 -8%)
- ✓ 工作機械: 設備投資低迷が継続 風力・鉄道: 中国で堅調持続
- ✓ 日本: 回復遅れ 海外: 中国 前年比プラス 他地域 緩やかに回復

売上高・営業利益 [自動車事業]

(億円)	20/3期 前半 <実績>	21/3期 前半 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率
売上高	3,022	2,023	-999	-33.1%
自動車軸受	1,622	1,148	-474	-29.2%
自動車部品	1,399	875	-525	-37.5%
営業利益 <利益率>	71 <2.3%>	-141 <-7.0%>	-212	—
換算レート1USD=	108.63	106.92	-1.71	-1.6%
" 1EUR=	121.41	121.29	-0.12	-0.1%
" 1CNY=	15.68	15.26	-0.42	-2.7%



1USD=	111.47	112.91	110.19	109.90	107.36	108.75	108.99	107.62	106.22
1EUR=	129.62	128.79	125.13	123.49	119.33	120.33	120.17	118.47	124.11
1CNY=	16.37	16.33	16.33	16.07	15.29	15.44	15.60	15.17	15.35

- ✓ グローバル自動車生産台数 1H YoY -25%(Q1 -43% Q2 -5%)
中国 +9%、その他地域 -36%
- ✓ 売上高 1H YoY 2,023億円 -33% (Q1 -52% Q2 -13%)
自軸 Q1 -48% Q2 -9% 自部品 Q1 -56% Q2 -17%

2. 2021年3月期通期業績予想

2021年3月期 通期業績予想

通期業績予想 前回発表（'20/8/4）から変更なし

- ✓ Q1がボトム 足元では自動車市場を中心に需要が回復
- ✓ 需要見通しはほぼ想定通り 下期で上期赤字をカバー 通期黒字目標
- ✓ コロナ影響の拡大長期化・米中対立激化のリスクは継続
- ✓ 期末配当予想は10円/株（年間20円/株）

(億円)	20/3期		21/3期	
	通期 <実績>	通期 <予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率
売上高	8,310	7,200	-1,110	-13.4%
営業利益 <営業利益率>	236 <2.8%>	10 <0.1%>	-226	-95.8%
税引前利益	241	5	-236	-97.9%
当期利益 (親会社所有者帰属)	174	0	-174	-100.0%
換算レート1USD=	108.75	107.26	-1.49	-1.4%
" 1EUR=	120.83	119.90	-0.93	-0.8%
" 1CNY=	15.60	15.23	-0.37	-2.4%

需要見通し前提

✓ グローバル自動車生産台数 (出所：IHS Automotive、NSK予想)

年間生産台数 (単位：百万台)

	20/3期	21/3期	
	実績	見通し	YOY
8/4発表前提	83.7	72.5	87%
7月IHS+NSK予想			

四半期動向 <前年同期を100とした場合の指数>

20/3期(実績)		21/3期 (見通し)			
Q3	Q4	Q1 実績	Q2 見通し	Q3	Q4
95	80	55	85	95	115

参考) 10月IHS	83.7	73.8	88%
------------	------	------	-----

実績			
55	95	95	110

✓ 産業機械事業 主要セクター ↑ 上向き、→ 横ばい、↓ 下向き

		20/3期 (実績)		21/3期 (見通し)	
		1H	2H	1H	2H
		vs. 19/3期 2H	vs. 20/3期 1H	vs. 20/3期 2H	vs. 21/3期 1H
生産財	工作機械	↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↑
	半導体	↓↓	↑↑	↑	↑↑
	ロボット	↓↓	↓	↓	→
インフラ	風力	→	↑↑	→	→
	鉄道	↑	↑↑	→	→
消費財	家電	→	↓	↑	→
AM		↓	↓	↓↓	↑

8/4発表の前提どおりの回復を見込む

- ✓生産財：工作機械 中国EMS需要
半導体 下期に投資再開見込む
- ✓インフラ：風力 中国に加え欧州で回復基調
- ✓消費財：日本、中国堅調維持
- ✓AM：先行き不透明も直近では受注増加

2021年3月期 通期業績予想

(億円)	20/3期	21/3期				
	通期 〈実績〉	前半 〈実績〉	後半 〈予想〉	通期 〈予想〉	対前期 増減額	対前期 伸び率
売上高	8,310	3,159	4,041	7,200	-1,110	-13.4%
営業利益 〈営業利益率〉	236 〈2.8%〉	-106 〈-3.4%〉	116 〈2.9%〉	10 〈0.1%〉	-226	-95.8%
税引前利益	241	-107	112	5	-236	-97.9%
当期利益 (親会社所有者帰属)	174	-123	123	0	-174	-100.0%
換算レト1USD	108.75	106.92	107.60	107.26	-1.49	-1.4%
" 1EUR	120.83	121.29	118.50	119.90	-0.93	-0.8%
" 1CNY	15.60	15.26	15.20	15.23	-0.37	-2.4%
セグメント利益 〈対売上高 率〉	256 〈3.1%〉	-130 〈-4.1%〉	155 〈3.8%〉	25 〈0.3%〉	-231	-90.2%

セグメント利益 = 営業利益 + その他の営業費用

セグメント別 業績予想

産業機械事業

(億円)	20/3期 通期 <実績>	21/3期				
		前半 <実績>	後半 <予想>	通期 <予想>	後半対前半 伸び率	対前期 伸び率
産業機械事業 売上高	2,325	1,045	1,155	2,200	+10.4%	-5.4%
産業機械軸受	1,898	862	933	1,795	+8.1%	-5.4%
精機製品	426	183	222	405	+21.3%	-5.0%
営業利益	141	12	48	60	+289.6%	-57.5%
営業利益%	<6.1%>	<1.2%>	<4.1%>	<2.7%>		

自動車事業

(億円)	20/3期 通期 <実績>	21/3期				
		前半 <実績>	後半 <予想>	通期 <予想>	後半対前半 伸び率	対前期 伸び率
自動車事業 売上高	5,738	2,023	2,782	4,805	+37.6%	-16.3%
自動車軸受	3,133	1,148	1,592	2,740	+38.6%	-12.5%
自動車部品	2,605	875	1,190	2,065	+36.1%	-20.7%
営業利益	98	-141	106	-35	—	—
営業利益%	<1.7%>	<-7.0%>	<3.8%>	<-0.7%>		

- **感染予防策（新型コロナ、インフルエンザ）の継続・徹底**
従業員、家族、および社会の安全・安心確保への対応
- **通期営業黒字に拘った運営を継続**
 - ✓ 産業機械事業：販売機会の最大化
 - ✓ 自動車事業：急激な需要回復への対応
 - ✓ 外部流出費抑制と時間外・派遣労働の投入抑制
 - ✓ 設備投資：増強投資の絞り込み
 - ✓ 在庫：サプライチェーンリスクの管理
- **ポストコロナに向けた変革への挑戦を推進**
 - ✓ 体質強化を加速 事業の競争力・収益力の再構築
 - ✓ 働き方改革の推進 リモートワーク50% ビジネスモデルを変える
 - ✓ ビジネス環境の変化への対応

3. 事業セグメント別の課題取り組み状況

① 産業機械事業

産業機械事業の環境変化 ● 非接触・リモート・分散 ● 自動化・スマート化 ● 環境 ● 医療高度化

インフラクター(風車・鉄道)

再生可能エネルギー・大量輸送手段
中期計画を上回るペースでの需要拡大

- ✓ 需要増への供給対応 ・能力増強
- ✓ 使用環境変化への対応
 - ・風車：洋上・大型化、高効率化、高信頼性
 - ・鉄道：高速化に対応する高品質、高信頼性
- ✓ 収益改善施策
 - ・中国生産体制拡充(現調化、内製化)

コンディションモニタリング

リモート化・スマート化の加速による
コンディションモニタリングのニーズ拡大

- ✓ 設備の状態監視・故障/劣化検知、余寿命診断、ソリューションを提供するビジネスモデルの構築
- ✓ 設備の機能、性能を支える重要部品(軸受、ボールねじ、リニアガイド等)メーカーとしての知見を活用

小型モーター向け軸受

5G 通信インフラ、DX拡大
エネルギー効率向上(省エネ、電動化、EV)

- ✓ 情報通信機器、半導体、ロボット、医療機器、車載等のモーター需要拡大
- ✓ 軸受への要求性能の高度化
 - ・長寿命、省エネ、小型化、静粛性等

デジタルマーケティングツール

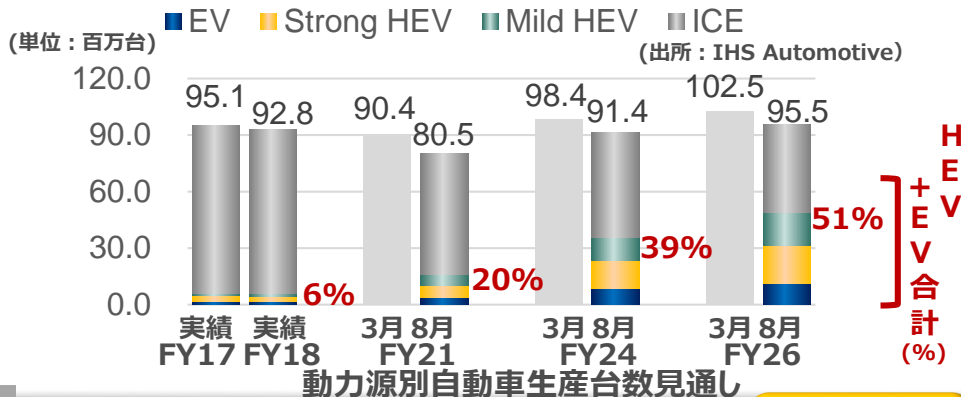
デジタルツールの基盤整備を加速

- ✓ 販売ポータルサイトの強化
 - ・機能、ユーザビリティ向上
- ✓ オンライン展示会、セミナー開催準備
 - ・NSK技術/新商品のプロモーション
- ✓ オンライン講習会開催準備
 - ・特定顧客向け技術サポート
- ✓ モバイルアプリサービス

②自動車事業

パワートレイン/シャシ向け製品戦略

- 自動車事業の環境変化**
- 電動化の加速
 - グローバル生産台数低迷
 - カーメーカーの陣営化



成長戦略

1. 顧客ポートフォリオの拡大
2. AT拡大(多段AT、AT+モーター)への戦略継続
3. 電動化により技術要求の高度化→新製品による拡販

拡販目標

+15%

(FY26 vs FY17)

高性能軸受

低トルク、
高剛性、高速化



電動車駆動モーター用
高速回転玉軸受

HUB軸受

低フリクション、
小型・軽量化



低フリクション
ハブユニット軸受

非軸受製品

小型・軽量化、ショックレス変速
静音化、最高速/航続距離向上



トラクション
ドライブ減速機



非接触式
トルクセンサー

STG & アクチュエータ ビジネスの再成長戦略

アクチュエーション(作動)
にフォーカスした製品開発

STGビジネスの再成長

- ✓ 高度化する技術要求への対応
 - ・静音化、軽量化、高出力等
- ✓ VWとの協業戦略の推進
- ✓ ラックEPS開発完了
 - ・受注未定

ブレーキブースター用 ボールねじ

- ✓ 緊急自動ブレーキ搭載義務化、
基準強化により需要拡大
- ✓ グローバル生産体制構築
 - ・日本、中国
- ✓ 拡販活動継続
2026年目標 1,000万本/年
 - ・高速応答性、小型・軽量化

E & E 本部設立

背景

IoT・5G、自動車市場におけるCASEなどの電動化ニーズで急増するモーター需要により、軸受需要が大幅に拡大

目標

**市場の伸びを上回る成長、シェア拡大
FY26 売上高目標：1.5倍(対FY19)**

戦略

**機動的な体制の構築
E & E (Electrical & Electrification) 本部設立 (2020年10月)**

✓市場ニーズを先取りするスピーディな技術開発、製品展開

主なアプリケーション

・ファンモーター (データセンター等)
・DCブラシレスモーター (車載、家電)
・医療機器モーター (呼吸器、歯科等)

×

要求性能

・省エネ
・静粛性
・高速回転
・回転制御

・車載モーター (ブレーキ)
・サーボモーター (ロボット)

×

・小型・軽量化
・特殊環境(防水防塵)

✓グローバル最適地生産による供給能力拡大

✓品質、コスト競争力強化

(補足情報)

事業セグメント別 前半実績

(億円)		20/3期 前半 <実績>	前半 <実績>	21/3期	
				対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
合計	売上高	4,348	3,159	-1,189	-27.4%
	営業利益	158	-106	-264	—
	営業利益%	3.6%	-3.4%		
産業機械事業	売上高	1,197	1,045	-151	-12.6%
	産業機械軸受	972	862	-109	-11.3%
	精機製品	225	183	-42	-18.7%
	営業利益	83	12	-71	-85.3%
	営業利益%	6.9%	1.2%		
自動車事業	売上高	3,022	2,023	-999	-33.1%
	自動車軸受	1,622	1,148	-474	-29.2%
	自動車部品	1,399	875	-525	-37.5%
	営業利益	71	-141	-212	—
	営業利益%	2.3%	-7.0%		
その他	売上高	255	181	-74	-29.1%
	営業利益	12	-2	-15	—
	営業利益%	4.8%	-1.4%		
売上高消去		-125	-90	+35	—
その他の営業費用/調整額		-8	25	+33	—

顧客地域別売上高 前半実績

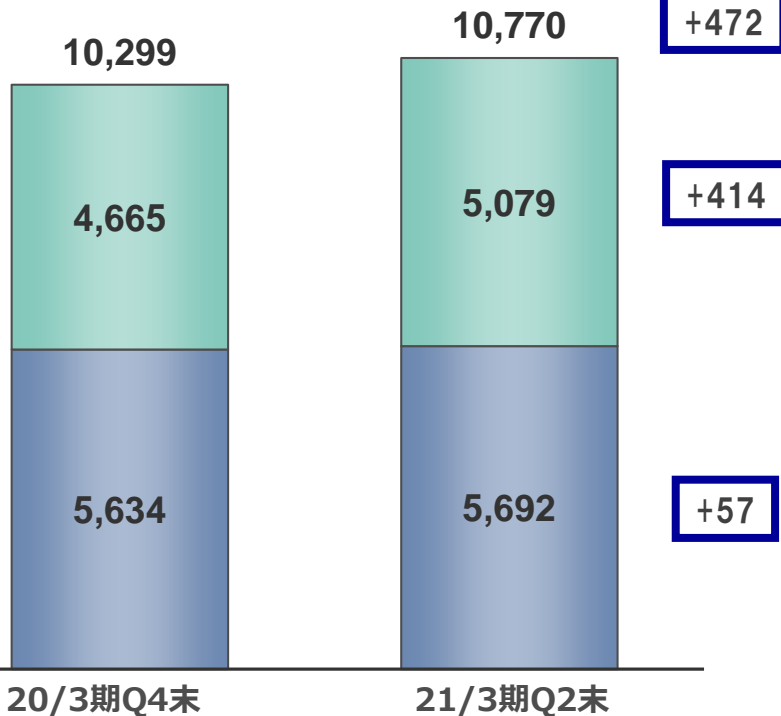
(億円)	20/3期	前半 <実績>	21/3期	
	前半 <実績>		対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	4,348	3,159	-1,189	-27.4%
日本	1,617	1,127	-491	-30.3%
海外合計	2,731	2,032	-699	-25.6%
<海外比率>	<62.8%>	<64.3%>		
米州	743	467	-276	-37.1%
欧州	569	381	-188	-33.1%
中国	802	793	-9	-1.2%
その他アジア	616	391	-225	-36.5%
換算レート1USD	108.63	106.92	-1.71	-1.6%
// 1EUR	121.41	121.29	-0.12	-0.1%
// 1CNY	15.68	15.26	-0.42	-2.7%

資産

■ 非流動資産 ■ 流動資産

(億円)

対前期末差



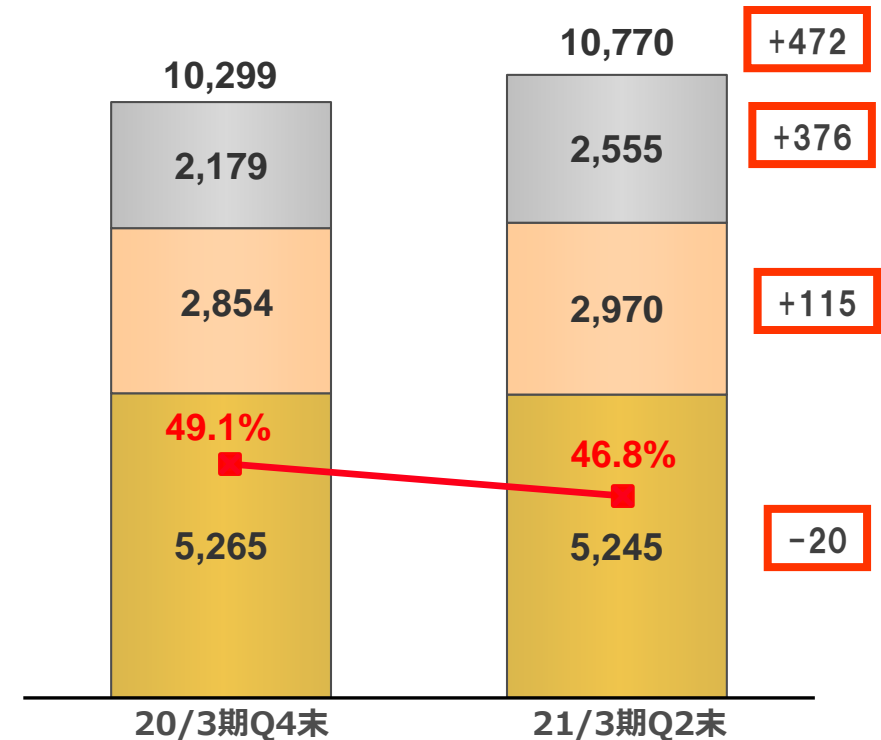
負債/資本

■ 資本 ■ 非流動負債 ■ 流動負債

■ 親会社所有者帰属持分比率

(億円)

対前期末差

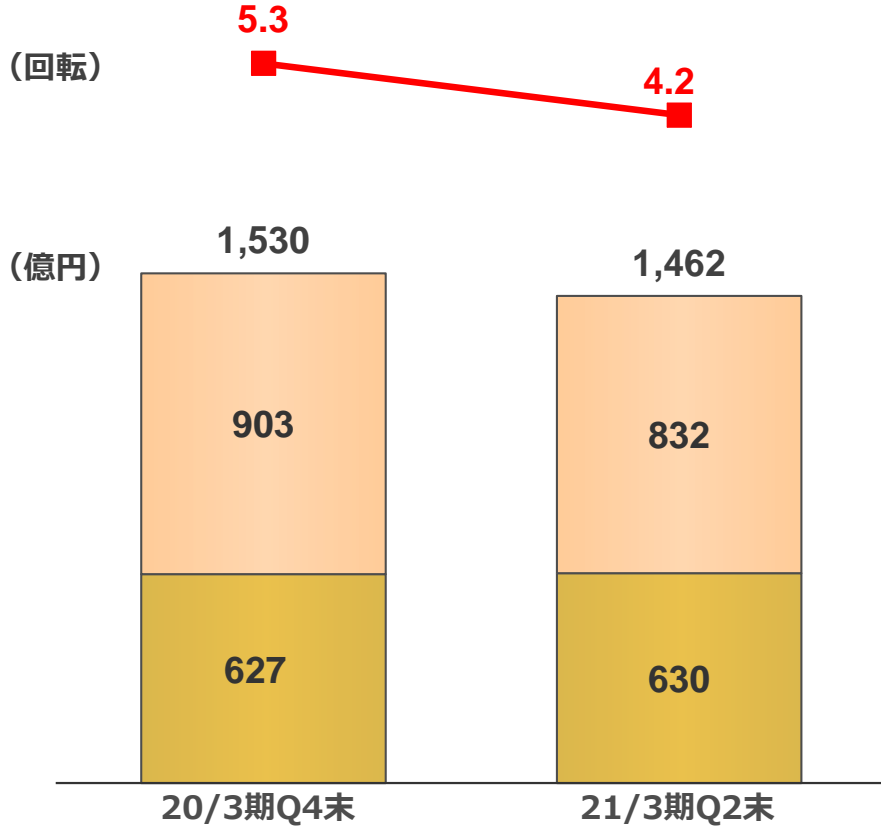


換算レート	20/3期Q4末	21/3期Q2末
1USD	108.83	105.81
1EUR	119.65	124.16
1CNY	15.30	15.54

棚卸資産/有利子負債

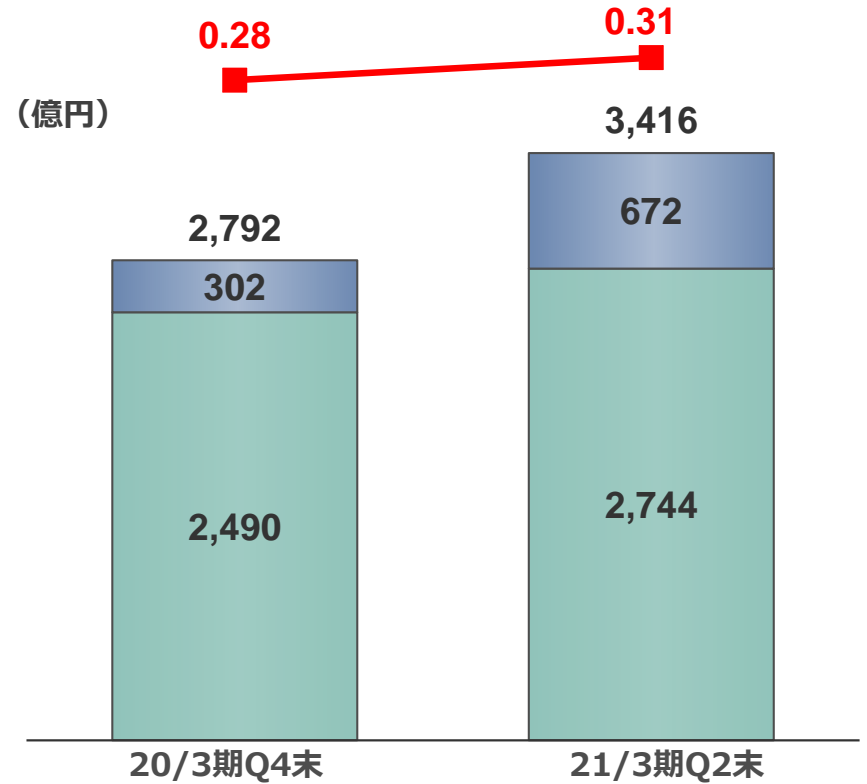
棚卸資産

■ 日本 ■ 海外 ■ 棚卸資産回転数



有利子負債

■ 日本 ■ 海外 ■ Net D/エレシオ



換算レート	20/3期Q4末	21/3期Q2末
1USD	108.83	105.81
1EUR	119.65	124.16
1CNY	15.30	15.54

設備投資額/減価償却費/研究開発費

(億円)	20/3期					21/3期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	通期計画
設備投資額	105	111	121	211	549	64	75	400
減価償却費	134	134	136	135	539	134	136	540

(億円)	20/3期					21/3期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	通期計画
研究開発費 (制度決算ベース)	46	45	46	45	183	40	44	170
技術関連費用 (参考)	79	80	78	77	314	70	72	300

MOTION & CONTROL™
NSK

Copyright : NSK Ltd. All rights reserved for all pages.